

第24回

水シンポジウム

2019 in しが

マザーレイク
しが
森・川・里・湖のつながりの再生を目指して

8月22日(木) **入場無料**
シンポジウム (定員400人)

10:00 ~ 17:00 (9:30開場)

会場:ピアザ淡海(2F ピアザホール)

特別講演、基調講演、パネル展示

テーマ別分科会①・②、市民団体による発表、全体会議

8月23日(金)
現地見学会 (定員40人)

～琵琶湖の治水・利水・環境巡り～

・赤野井湾(守山市) ・瀬田川洗堰(大津市)
・琵琶湖博物館(草津市) ・琵琶湖疏水(大津市) など

9:00(出発)～16:10(解散)

【集合】8:45 / JR大津駅(北口)

【参加費】2,100円(昼食代、保険代、施設入場料込)

※学生、お子様の参加費につきましては別途お問合せください。

写真提供:(公社)びわこビジターズビューロー

会場までのアクセス



- JR大津駅から京阪・近江バス「草津駅西口行」または「石山駅行」、「大津駅前」下車約10分
 - JR大津駅からタクシー約5分
 - JR膳所駅から徒歩約12分
 - 京阪電車石場駅から徒歩約5分
- 【クルマ】
名神大津I.C.から車で約7分
(地下駐車場77台(有料))
駐車場に限りがありますので、
公共機関のご利用をお願いします。



主催 第24回水シンポジウム2019 in しが 実行委員会 (構成団体:公益社団法人土木学会水工学委員会、国土交通省近畿地方整備局、滋賀県、大津市)

協賛 (一社)近畿建設協会、(一社)日本建設情報総合センター 近畿地方センター、(一社)日本建設業連合会 関西支部、
(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構、(一社)滋賀県建設業協会、
(一社)滋賀県建設コンサルタント協会、(一社)滋賀県測量設計技術協会、(一社)関西地質調査業協会、滋賀県河港・砂防協会

このシンポジウムは、土木学会継続教育(CPD)プログラムの認定を受けています。

このシンポジウムは、公益財団法人河川財団による河川基金の助成および一般財団法人防災研究協会による助成を受けています。



河川基金

第24回 水シンポジウム 2019 in しが

琵琶湖は275億トンもの水をたたえ、近畿圏約1,450万人の生活と産業を支える水源であり、治水機能や観光資源など、様々な役割を担うとともに、400万年の歴史を持つ古代湖であり、多様な生物を育み、多くの固有種や食料となる魚介類が生息しています。また、本年は、甚大な被害をもたらした昭和34年9月の伊勢湾台風の来襲から60年の節目を迎えます。近年においても相次ぐ台風の襲来や線状降水帯に伴う豪雨により、河川の氾濫や琵琶湖の水位上昇が頻発する等、想定外にも備える防災・減災の重要性が、改めて強く認識されているところです。

このような中、滋賀県では、平成26年度に「滋賀県流域治水の推進に関する条例」を制定し、どのような洪水にあっても、県民の生命を守り、甚大な被害を回避するための対策を進めるとともに、平成29年度には「琵琶湖の保全再生に関する計画」を策定し、森、川、里、湖のつながりや人の暮らしと湖とのつながりの再生を進めているところです。

滋賀県では、古来より人々の暮らしに密接に関わってきた琵琶湖やその周辺の河川について「滋賀から発信するしなやかで強靱な流域治水のあり方」、「水辺を活かした、まちづくりと環境保全の相乗効果」に着目し、これからの水との関わり方についての提案を、滋賀から全国へ発信します。

8月22日(木) シンポジウム

入場無料

【午前の部】 10:00 開会(9:30 開場)

10:35 特別講演(50分) 「しのび寄る地球温暖化影響とそれへの適応とは？」
講師：京都大学 防災研究所 教授 気象・水気象災害研究部門 水文気象災害研究分野 中北英一氏

11:25 基調講演(50分) 「滋賀県発、持続可能社会への挑戦ー科学と政策をつなぐー」
講師：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター長 内藤正明氏



中北英一氏



内藤正明氏

【午後の部】 13:15 分科会(第1・第2) →
14:55 休憩(15分)
15:10 市民団体発表
① 近江八幡市立馬淵小学校5年生
② オーパルオブテックス(株)

15:50 全体会議

16:50 次回開催県挨拶

17:00 閉会

◆第1分科会 (2F ピアザホール)

- ・テーマ 「滋賀から発信するしなやかで強靱な流域治水のあり方」
- ・コーディネーター 杉原裕司(土木学会水工学委員会基礎水理部会/九州大学 教授)
- ・パネリスト 瀧健太郎(滋賀県立大学 准教授) 村口智一(米原市都市計画課) 真鍋政彦(日経コンストラクション副編集長)
里深好文(立命館大学 教授) 岸田孝史(滋賀県土木交通部流域政策局長) 安田清明(東近江市葛巻区前防災部会長)
大沢昌玄(日本大学理工学部 教授) 大山武人(NHK天津放送局アナウンサー)

◆第2分科会 (3F 大会議室)

- ・テーマ 「水辺を活かしたまちづくりと環境保全の相乗効果」
- ・コーディネーター 立川康人(土木学会水工学委員会/京都大学 教授)
- ・パネリスト 佐藤祐一(滋賀県立琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員) 松澤秀夫(大津市未来まちづくり部次長)
秋村洋(株)まちづくり大津 三和伸彦(滋賀県琵琶湖環境部技監)
石上僚(株)みらいもりやま21 堀田伸之(近畿地方整備局琵琶湖河川事務所長)

8月23日(金) 現地見学会

～琵琶湖の治水・利水・環境巡り～(定員40名)

※現地見学会は先着順のため、ご希望に添えない場合がございます。

●参加費：2,100円(昼食代、保険代、琵琶湖博物館常設展示観覧料込)
※学生、お子様の参加費につきましては別途お問合せください。

8:45 集合(JR大津駅 北口)

9:00 出発 見学① 赤野井湾流域流出水対策施設(守山市杉江町)
見学② 滋賀県立琵琶湖博物館(草津市下物町)
見学③ 瀬田川洗堰・水のめぐみ館アクア琵琶(大津市南郷)
見学④ 琵琶湖疏水(大津市大門通)

16:10 解散(JR大津駅 北口)

現地見学会につきましては、万が一に供え「レクリエーション保険」等に参加していただきます。また、参加費は当日現地受付にてお支払いください。ご記入いただいた個人情報、お申込みのイベントに関連した連絡のみ使用いたします。

シンポジウム・現地見学会 参加申込方法

締切：8月2日(金) 必着

要申込

FAXから ▶下記の申込書に必要事項を記入してご送付ください。

FAX. 077-545-1829 まで

メールから ▶ホームページ内から申込書をダウンロードいただき
項目を明記の上、下記アドレスまでお送りください。

mizushinpo2019@honsho.co.jp まで

「第24回水シンポジウム2019inしが」ホームページ

アドレス▶<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/304628.html>

参加申込お問合せ(平日9:00-17:00)

水シンポジウム2019inしが受付事務局(株)本庄内 TEL:077-545-1302

FAX専用 お申込書

締切：8月2日(金)

シンポジウム・現地見学会へのお申し込みについて、複数の場合は、代表者名と参加者名にご記入をお願いします。

FAX番号 077-545-1829【(株)本庄行】

参加希望企画	☐ シンポジウム ☐ 現地見学会 ☐ 両日参加	シボジウム	現地見学会	参加者氏名	年齢
フリガナ		☐	☐		歳
代表者氏名		☐	☐		歳
住所		☐	☐		歳
所属団体		☐	☐		歳
電話番号	—	FAX番号	—	—	
弁当申し込み	※8/22シンポジウム用・お茶付き¥600 ☐ 申し込む(個)	メールアドレス	@		

開催内容
お問合せ

第24回水シンポジウム2019inしが実行委員会事務局(滋賀県流域政策局)
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号 TEL:077-528-4274